

第6学年 道徳学習指導略案

2021年5月15日(土)
 授業者 1組 西原 誠貴
 2組 杉山 亜耶
 3組 吉田 理恵

1. ねらい
 人間として生きる喜びを感じ、自分の命を大切にしていよりよく生きようとする心情を育てる。
2. 資料名 「義足の聖火ランナー～クリス・ムーン～」(出典：『新しい道徳6』東京書籍)
3. 展開

	学習活動と主な発問等	・指導上の留意点 ☆評価
導入	(1)地雷の写真を見て、知っていること、感じたことを伝え合う。 ・戦争の兵器の一つだったのかな。 ・地面に埋まっていたら気付かなそうだ。	・地雷の被害に遭ったクリス・ムーンさんの生き方から、自分の生き方について考える学習をすることを知る。 ・時系列に写真を黒板に提示し、学習への見通しをもたせる。
展開	(2)教材を読み、困難の中、命の大切さを訴え続けたクリス・ムーンさんの心情を考える。 ○地雷によって手足を失ったクリス・ムーンさんは、どんなことを考えたのでしょうか。 ・なぜ自分がこんな目に遭わなければいけないのか。 ・これからどうしていけばいいのか。 ・落ち込んだままではだめだ。 ・自分にはまだやるべきことがあるはずだ。 ○サハラマラソンを走るクリス・ムーンさんを支えたのは、どんな思いなのでしょう。 ・人々に勇気を与えたい。 ・地雷の存在を知ってもらい、無くしていきたい。 (3)資料を通して考えたことをカードに書き、グーグルジャムボードで交流する。 ◎命の大切さを自分の身の回りの人たちに広めていくために、自分ができていることを考えましょう。 ・悩んでいる人がいたら相談に乗ってあげる。 ・友達と仲良く過ごす。 ・自分の命を大切に守り、長生きする。	・児童の意見を後ろ向きな感情と前向きな感情に分けて板書し対比させることで、手足が失った苦悩と、それを乗り越えようとする気持ちを読み取らせる。 ・サハラマラソンの過酷さを補足し、それを成し遂げたクリスさんのすごさを児童に感じ取らせる。 ・児童一人一人に自分の考えをカードに書かせた後、クラス全体でグーグルジャムボードで共有する。内容ごとにグルーピングさせる。 ☆人間として生きる喜びを感じ、自分の命を大切にしていよりよく生きようとする心情を育てる。【ワークシート・発言】
終末	(4) 友だちの意見を聞いた感想を伝え合い、学びの深まりを確認する。	・黒板に掲示した内容から、命を大切にするための方法が多様にあることに気付かせ、自らの生き方を見直すことができるようにする。

《授業の見どころ》

困難な状況になっても、よりよい生き方を探し、人生を歩んでいこうとする人を題材とし学習していく。また、グーグルジャムボードを使うことで、意見の交流や全体での共有が活発化され、より自分の考えを深めたり広げたりすることができる。